

宇陀市選奨式を挙行

問 秘書広報情報課 (☎ 82・3912 / IP ☎ 88・9083)

11月23日、市役所において「令和5年度宇陀市選奨式」を挙行しました。この式典は、市や行政の推進のために貢献された功績が特に顕著な方を表彰し称えるもので、今回は選奨受章者2人、功労表彰受章者1人の方々を表彰しました。このような機会を通し、市民の皆さんに、これまでの市政の歩みや市の将来を考えるとともに、今後のまちづくりへ、より積極的な支援をお願いしたいと思います。



市政発展のための
 ご尽力と
 尊い心に感謝を込めて

選奨受章者

◆市の自治の振興または公益の増進に貢献された方



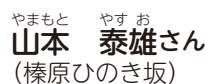
平成17年に総務大臣より室生村の行政相談委員として委嘱されました。市町村合併後も引き続き市の行政相談委員として尽力され、村時代と合わせた16年の長きにわたり、行政サービスに関する苦情、行政の仕組みや手続きに関する問い合わせなど、住民への助言や関係行政との調整業務を行い、身近な相談窓口として活躍され、市の自治の振興に大きく貢献されました。



平成19年12月に民生児童委員に就任以来、15年の長きにわたり、常に住民の立場に立って相談に応じ、適切な助言や援助を行うなど、地域福祉活動に尽力されました。平成28年12月からは榛原地区民生児童委員協議会会長、また宇陀市民生児童委員連合会副会長を歴任されるなど、地域の多様な課題にも積極的に取り組まれ、市における社会福祉の増進に大きく貢献されました。

功労表彰受章者

◆教育功労



平成4年に榛原ひのぎ坂において、「山本診療所」を開業されました。平成5年4月から令和3年3月までの間、旧伊那幼稚園、旧伊那佐小学校、榛原北保育園、榛原中学校、旧榛原西幼稚園、榛原西小学校、大宇陀こども園において、学校保健安全法に定める学校医として活躍され、幼児や児童生徒個々について健康状態の把握や、健康相談等に従事されるなど、市の教育の振興に大きく貢献されました。

大和信用金庫と脱炭素社会の実現に向けた連携に関する協定を締結しました

協定を締結しました

問 企画課 (☎ 82・1362 / IP ☎ 88・9074)

12月1日、大和信用金庫と宇陀市内における脱炭素への取り組みの促進を図ることを目的として「脱炭素社会の実現に向けた連携に関する協定」を締結しました。

この協定に基づき、住宅の省エネルギー化や太陽光パネルなどの再生可能エネルギーの設備導入への支援や、市民の脱炭素への意識醸成の促進に取り組みれておられる大和信用金庫と、連携・協力することで、市の脱炭素社会の実現を目指し、今後、皆さんの脱炭素につながる取り組みを支援していきます。

《連携項目》

- 宇陀市内における脱炭素への意識醸成および取り組み促進
- 中小企業における脱炭素に向けた設備投資を促進・支援する取り組み
- 一般家庭における電気自動車(EV)・太陽光発電設備・家庭用蓄電池等の設置を促進・支援する取り組み
- その他宇陀市内における脱炭素に向けた取り組み



▲大和信用金庫 中村理事長 (左)

第4次宇陀市行政改革大綱実施計画(後期分)を策定しました

問 行政経営課 (☎ 82・3632 / IP ☎ 88・9084)

令和5年度に第4次宇陀市行政改革大綱実施計画(前期分)が終了することに伴い、宇陀市行政改革推進懇話会の答申を受け、第4次宇陀市行政改革大綱実施計画(後期分)を策定しました。

第4次宇陀市行政改革大綱実施計画(後期分)

市では、令和3年度から5か年の「第4次行政改革大綱」を策定し、当該大綱に掲げる「持続可能な強い宇陀市をめざして」不断の行政改革を推進しています。

「実施計画書」では、当該大綱の2つの基本方針と6つの重点取組項目に基づく具体的な取組内容やスケジュールなどを記載していますが、計画の期間を前期分3年間(R3~R5)と後期分2年間(R6~R7)に分けて取り組みを進めることとしております。今回の実施計画は、前期分の計画を検証したうえで必要と認められる取組は継続し、「自治体DXの推進」など時勢に合った取組みや「公共施設



▲行政改革推進懇話会 鶴谷会長 (中央)、影山副会長 (右)

※脱炭素とは地球温暖化の原因といわれている、二酸化炭素をはじめとした温室効果ガスの排出量を減らすことをいい、市では脱炭素を目指して取り組みを推進しております。

エストニア サレマー高校 Ivo 校長が市を表敬訪問

行政経営課 (☎2・3632 / IP ☎88・9084)

今年度、公募で選ばれた市内中学生10人が世界最先端のIT国家であり起業活動が盛んな「エストニア」へ短期留学しました。これは子どもたちの国際的な視野を広げ、自ら課題を解決する起業家精神を育ててもらおうと市が始めた「アントレプレナーシップ教育」の一環です。その際、サレマー高校でサリースクールを実施いただいたIvo Visak 校長が11月10日(金)〜11日(土)に宇陀市を表敬訪問され、留学した生徒たちと交流しました。

榛原中学校の視察や特別講義の実施に加え、留学生らとの交流会も行われ、再会を懐かしみました。

市では今後もエストニアとの交流を図っていききたいと考えています。



▲Ivo 校長 (左)



▲交流会の様子



▲2年生を対象とした特別講義の様子

宇陀市農林産物品評会・即売会を開催

問 農林課 (☎2・3679 / IP ☎88・9090)

うだ・アニマルパーク会場において、市で採れた自慢の農林産物を一堂に集めた「第15回宇陀市農林産物品評会・即売会」を開催しました。

展示会場では、丹精込めて育てられた見事な農林産物(出品者:61人、出品数:133点)が勢揃いしました。

午後からの即売会の収益金25900円は、出品された方々のご厚意により、市の善意銀行に預託させていただきました。なお、農林産物品評会の受賞者は次のとおりです。(敬称略)

【特賞の部】	氏名	品目
県知事賞	角野 浩平	大根
県議会議長賞	北脇 正文	里いも
市長賞	大久保 艶子	白菜
市議会議長賞	辻 公美子	ねぎ
市農業委員長賞	やまとファーム Japan 椿井 佐知子	キウイ
県農業協同組合代表理事長賞	杉本 祐子	キャベツ
県農業共済組合組合長理事賞	福田 安民	玄米
県東部農林振興事務所長賞	福角 登	ゆず
市森林組合代表理事組合長賞	南裏 勝三	ひのき苗
室生村森林組合代表理事組合長賞	株式会社 DIAMOND CAST	ひらたけ
オーガニック賞	長木 節次	ほうれん草
【市長特別賞】	迎 権代司	ごぼう
	室 徳司	ほうれん草
	西岡 明	かぼちゃ

広報うだがスマホでいつでも見られる

マチイロ マチを好きになるアプリ

App Store Google play

教育委員会

20歳のつどい

20歳を迎えられた皆さん おめでとございます！
久しぶりに同級生や恩師と出会い、楽しい時間を過ごしてくださいね。

【教える】横に向けた人差し指前方斜め下へ2回振る。

【委員】体の前で指文字「イ」を表し下に引く。

【会】両手を斜めにして指先を合わせ、斜め下に左右に引く。

【年齢】右手をあごにつけ、親指から順に折り握る。

【数字の「20」】2指を立て、曲げる。

【人が集まる様子】両手の指を少し曲げて立て、左右から真ん中に近づける。

手話の扉 第42回

3S Triple Slogan

さんとぴあ榛原からのお知らせ

皆さん、新年あけましておめでとございます。

長らくのコロナ禍からもようやく抜け出すことができ、徐々に元気を取り戻した気がいたします。とはいえ、コロナがなくなったわけではなく、インフルエンザ等も併せて、とりわけ重篤化しやすいとされる高齢者、病弱な方の感染には注意が必要であり、高齢者施設でも引き続き適切な感染対策、予防対策が求められます。流行状況や世情の動向をみながら、注意深く対処してまいりたいと思います。

さんとぴあ榛原は、県下唯一の公立介護老人保健施設として今年で25年目を迎えることとなります。課題もありますが、知恵を絞り、努力を重ね、地域や利用者のニーズに添えていきたいと思っております。介護老人保健施設は高齢者や介護が必要な方々のための施設で、医療や日常的なサポート、リハビリテーションなど、レクリエーションなどを提供してまいります。

職員一同、一丸となって地域の皆さんのご期待に応えるべくがんばってまいりたいと思います。引き続き、ご利用よろしくお祈りいたします。

供します。そのための、多職種の専門スタッフが共同して関わります。医師、看護師、介護福祉士、リハビリ専門職、栄養士、支援相談員、事務職員などです。入所者は日常生活の支援を受けつつ、食事や排泄、入浴などのケア、医療処置、リハビリテーションプログラム、精神的社会的な活動などが提供されます。当施設は、清潔、清朗、誠実の3Sを踏まえ、大きな家で家族的な雰囲気大切に、総合的リハビリテーション施設として自立支援を重視し、安心安全な信頼される介護サービスの提供を心がけます。

▲越智 医師